



profile

平成17年5月8日生まれ。弟とサッカーをすることが楽しみ。虻田5区在住。14歳。

夢は、サッカーワールドカップの  
決勝戦で主審を務めること

Spotlight

スポットライト



サッカー・フットサル両種目の3級審判員資格取得

神野 亮さん

「サッカーは、言葉が通じなくても世界中の人とつながることができるスポーツです」

サッカーの魅力を語るのには、サッカーとフットサル両種目で3級審判員の資格を得た神野亮さん。

サッカーをやっていた父親の影響で小学1年生のときにサッカーを始め、昨年6月にサッカー、11月にフットサルの3級審判員資格を取得。両種目でこの資格を持って

いる中学生は国内では神野さんだけだと思います。

神野さんは札幌市の出身で、小学校卒業後、洞爺湖町に引っ越してきました。中学校に入学後もサッカー部に属していましたが、審判員の活動に専念するため、サッカー部を退部。

サッカーを始めたころから審判員に興味を持っていましたが、小学6年生のときにフットサルの試合で国際審判員の小崎知広さんと出会い、

トスコインをもらったことをきっかけに審判員になることを決意しました。

現在までに、道内各地で行われたサッカーやフットサルの公式戦約50試合で審判員を務めています。

「自分のジャッジで円滑に進め、試合をコントロールできることが楽しいです」と審判員のやりがい語り、「自信を持って正確なジャッジができるように、プレーが見やすい位置に素早く動くことや選手とのコミュニケーションを大事にするように心がけています」と話します。

サッカーとフットサルの両種目で審判員の資格を取得することで、たくさんの経験を積み、目標としている1級の資格を取得するためのステップアップにつなげたいと意気込みます。

サッカーを続けてきたことが体面、精神面でも審判員とし生かされていると、「サッカーワールドカップの決勝戦で主審を務めたいです」と将来の夢を語ります。

東奔西走

明けましておめでとうございます。昨年たくさん取材をしてあっという間の1年でした。皆さんの協力のおかげでよい表情の写真を撮ることができたと思います。いつも撮影・取材に協力していただきありがとうございます。(C.K)  
新年明けましておめでとうございます。今年の干支「ねずみ」のように、あちこちと取材に走り回りますので、みなさん今年もご協力よろしくお願いします。(M.O)

今月のワンショット



サンタクロースが登場した  
とよや水の駅クリスマスフェア